

2022年2月14日

各位

会社名 株式会社レナサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 内藤 幸嗣  
(コード：4889 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役管理管掌 池田 和博  
(TEL. 03-6262-0873)

## 2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月14日の取締役会において、2021年9月24日に公表しました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」における2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

|                        | 事業収益       | 営業利益        | 経常利益        | 当期純利益       | 1株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------|------------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 前回発表予想（A）              | 百万円<br>122 | 百万円<br>△395 | 百万円<br>△399 | 百万円<br>△400 | 円 銭<br>△35.13  |
| 今回修正予想（B）              | 139        | △263        | △294        | △294        | △25.84         |
| 増減額（B－A）               | 17         | 132         | 105         | 105         |                |
| 増減率（％）                 | 13.6       | －           | －           | －           |                |
| （参考）前期実績<br>（2021年3月期） | 209        | △86         | △90         | △100        | △10.19         |

#### 2. 修正の理由

2022年3月期におけるパイプラインの想定の見直しを実施した結果、事業収益については、前回発表予想比17百万円（同13.6%）増加する見込みとなりました。その主要な理由として、当期中に予定していたBaxter Healthcare Corporationからのマイルストーン収入の一部が来年度に繰り越しとなった一方で、来年度に予定していたニプロ(株)との共同研究契約締結、チェスト(株)とのRSAI01の共同研究及び事業化に関する契約に基づくマイルストーン収入が当期に達成されたことが挙げられます。

営業利益については、前回発表予想比132百万円増加する見込みとなりました。当期はRS5614\_悪性黒色腫（メラノーマ）に関する研究開発費として60百万円を見込んでおりましたが、当社の共同研究先である東北大学が国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の令和3年度「橋渡し研究プログラム」（研究開発課題名：進行性悪性黒色腫治療における抗PD-1抗体とのTM5614の安全性・有効性を検討する第II相試験）に採択され、当該公的資金が充当されたこと、及び当期の株式上場費用が想定よりも下回ったこと等により、「その他の販売費及び一般管理費」が削減されたことによるものです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づく判断及び仮定を前提にしており、実際の業績等は今後の様々な要因により、当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上